

1 章

池袋副都心交通戦略策定の目的

池袋副都心交通戦略の役割と位置付けを示します。

1-1. はじめに

池袋副都心の交通環境は都市計画道路の整備とともに、かつてない大きな転換期を迎えます。西口方面では、環状第6号線や補助第172号線、補助第173号線が完成しました。東口方面では、補助第81号線の事業が進展し、環状第5の1号線の地下道路の整備が進んでいます。これを機に、池袋副都心周辺の大きな交通ネットワークができあがり、池袋駅前、特に東口駅前の明治通りに流入していた通過交通の激減が予想されます。

池袋副都心交通戦略は、このような交通環境の変化とまちづくりが連動して都市再生を実現する姿を取りまとめたものです。それは、人が中心となるまちづくりを見据えた、自動車に過度に依存しない人と環境にやさしい都市です。これまで自動車が占めていた道路空間のウエイトを歩行者に振り替え、駅からまちなかへと人の流れを生み出すことで、住む人、訪れる人にとって楽しいまち、居心地が良く歩きたくなるまちを目指します。

目指す交通環境を実現するためには、自動車利用の変更や路上荷さばき車両への対応、交通結節施設の再配置など様々な影響と課題が生じます。次の時代を担う交通環境を整えていくために、豊島区が先頭に立ち、関係機関との連携とともに区民のみなさまと力強く協働しながら、解決策を見出していかねばなりません。

このような池袋の交通環境の変化を千載一遇のチャンスと捉え、この池袋副都心を人と環境に優しく、東京の発展の一翼を担う安全で快適な都市空間として再生していきます。

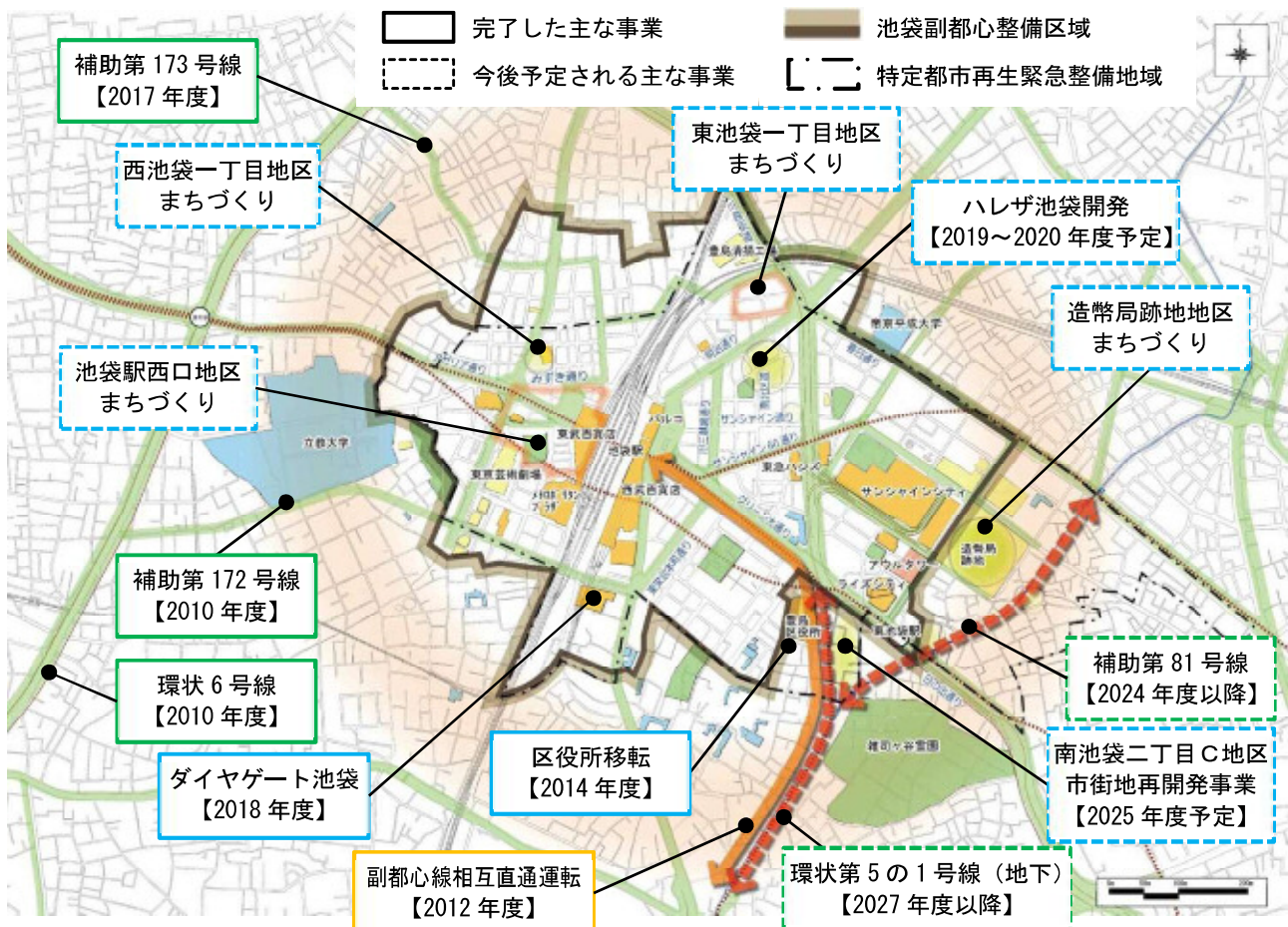


図 1-1 池袋副都心の交通環境の動向

1-2. 交通戦略の役割

交通戦略は、自動車に過度に依存しない都市の一つのモデルを目標に、「人が中心」となる交通環境を具体化し、現状と目標とする交通環境とのギャップを埋めていくために必要な視点を整理します。

さらに複雑多岐にわたる交通課題を解決するために、関係者との協議を経て、実現化に向けた一つの方向性と交通のあり方を示していきます。

関連計画(東京都)

都市づくりのグランドデザイン(2017年)

都市計画区域マスタープラン(2014年)

豊島区

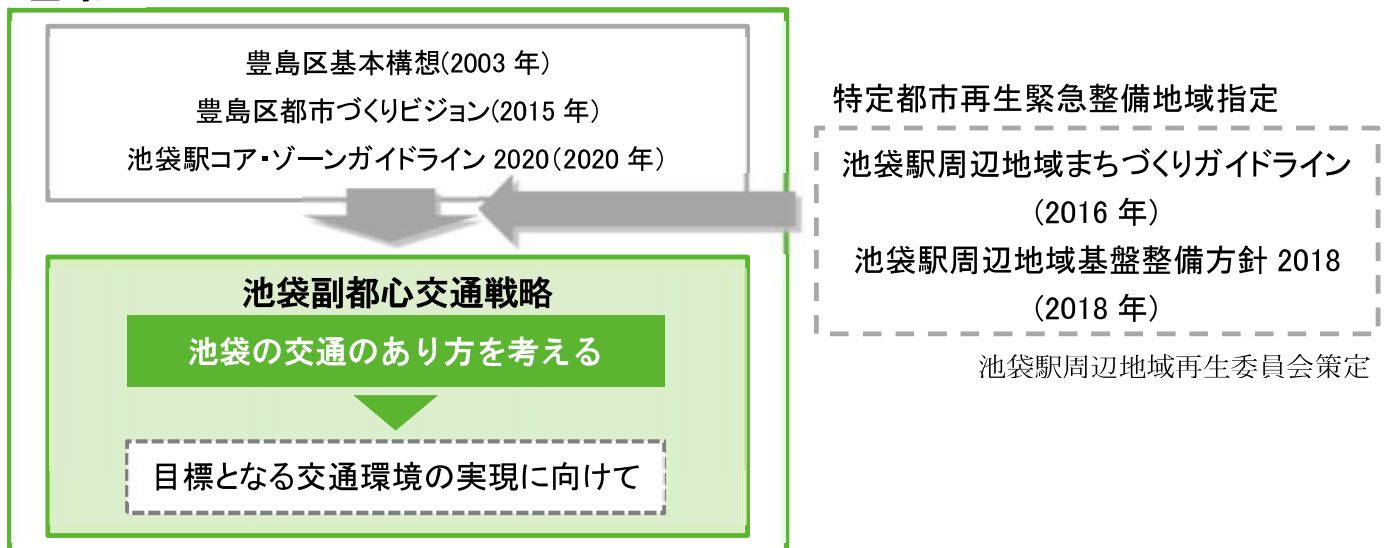


図 1-2 池袋副都心交通戦略の位置づけ

■池袋駅周辺地域基盤整備方針 2018 の概要

安全で快適な都市空間を創出し、まちづくりガイドラインに示す将来像である「世界中から人を惹きつける国際・アートカルチャー都市のメインステージ」を実現するため、都市再生事業を進める際に公民が連携・協働して対応すべき、都市基盤に関する課題と取組みを整理するもの

○池袋駅コア・ゾーンでの取り組み（地域の核を成す池袋駅の周囲を池袋駅コア・ゾーンとして指定）

- 街区再編による大街区化を進め、狭小敷地や細街路の解消、オープンスペースの確保を実現
- 池袋駅と周辺施設との一体的な開発により、多様な都市機能の高度な集積を実現
- 駅とまち、駅の東西をつなぐ歩行者動線を確保し、都市の玄関口を形成
- 自動車の侵入を最小限に抑え、歩行者優先の都市空間を実現

<「国際アートカルチャー都市のメインステージ」とは>

- 固定の劇場だけでなく、広場や道路、公園などを活用し、リアルな表現・発信の場をまちなかに創造する。
- 様々な空間で、多様な価値観を持つ来街者や住民が日常的に交流することで、新文化・新企業のスタートアップ、育成を支援する。

1-3. 池袋副都心交通戦略の目的

豊島区都市づくりビジョンにおける、まちづくりの取組み方針を示します。

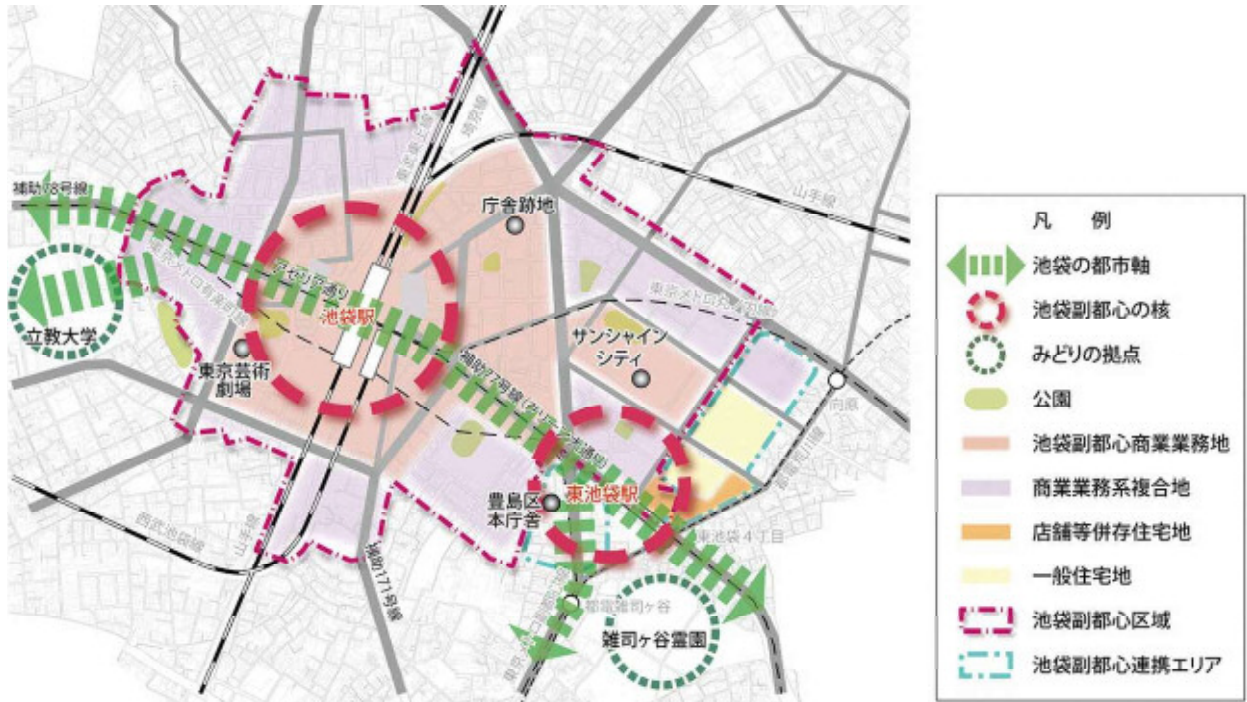


図 1-3 池袋副都心の土地利用方針図

- 方針1 高度な防災機能を備えた都市の実現
- 方針2 人に優しい交通環境の構築
- 方針3 ライフステージに応じた良好な住環境の整備
- 方針4 エネルギー効率の高い低炭素型都市への転換
- 方針5 みどりの回廊に包まれた憩いの創出
- 方針6 個性のある美しい都市空間の形成
- 方針7 文化を軸としたにぎわいと活力の強化
- 方針8 健康を支える快適な都市づくりの展開

図 1-4 池袋副都心の再生方針

以上出典：豊島区都市づくりビジョン

【池袋副都心交通戦略の検討趣旨】

「次の時代を担う交通環境」を
どのように整えていくのかについて検討します